

# 年未 地方の 医療急迫

新型コロナウイルス感染は日本を含む、高知などの地方都市でも深刻化してくる。政府は旅行需要抑制策「GOTOトラベル」事業を28日から全国一斉停止としているが、医療機関が手薄になる年末年始には帰省客も見込まれ、不安は高まる。知事らからは「医療崩壊に近い」との悲鳴や帰省自粛を求める声が上がり、政府の対策の遅れへの不満もあがいてくる。

増加傾向は止まらず、17日過去最多の96人を記録した。警察にあるのは、なおつづ

ラスターの多発だ。広島市内で12月21日までに確認された18件中10件は飲食店で発生。県は同市中心部の飲食店などに17日～1月3日の営業時間

協力を」と訴える。  
高知県でも12月以降に感染  
が急拡大し、15日の新規確認  
者数が36人と過去最多を更新。  
県の計算では22日の病床  
使用率は88・5%に上る。県  
独自の対応自安ではつ段階の  
ステージのうち上から2番目

話す。三が日に初詣客が集中するのを緩和するため、12月28日と1月4日に出勤する県職員を半数にして1月4～8日に1日以上の有給休暇を取つてもらう、初詣の分散を促す。【田中紘友莉、益川豊平、小山美砂、松原由佳、深尾昭寛】

非常事態宣言を発表。対策が不十分な状況での宴会や飲食、カラオケをやめるなど、リスクが高い行動の抑制を求めた。知事は「今後、入院できずによくなる患者が出る可能性がある」、同席した眞医師会の松山正春会長も「医療崩壊は近い」と訴えた。

者会員でCOTOの全国一斉停止について「感謝しているが、もう少し早く止めてもらつたら、いままで（感染者が増える事態にならなかつた」と言及。「（県内）で春・夏に通用した対策がうまくいっていない。邊りやの方をしなければ大変なことになる」と改めて強調した。

広島県では11月に広島市の  
感染者が急増。9～15日の1  
週間に確認された人口10万人  
当たり新規感染者は38・93人  
と、大阪(33・61人)など他の19  
政令市を上回った。その後も

短縮を要請している。

の「特別警戒」となっており、県内全域の飲食店などに16時30分は午後8時までの時短営業を要請。「症状がある人は県内への帰省を避けてほしい」と呼び掛けている。

石川県では22日時点で重症者はいないが、新規感染者が